

2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月14日

上場会社名 AI CROSS株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4476 URL <https://aicross.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 原田 典子
 問合せ先責任者 (役職名) Chief Financial Officer (氏名) 圖子田 健 TEL 050-1745-3021
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

（1）連結経営成績（累計） （%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	2,453	△0.2	238	62.7	238	68.4	120	38.8
2022年12月期第3四半期	2,457	34.8	146	△32.7	141	△33.9	86	△72.0

（注）包括利益 2023年12月期第3四半期 122百万円（41.3%） 2022年12月期第3四半期 86百万円（△72.0%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	30.47	29.77
2022年12月期第3四半期	21.98	21.69

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	2,161	1,783	82.1
2022年12月期	2,037	1,633	80.2

（参考）自己資本 2023年12月期第3四半期 1,775百万円 2022年12月期 1,633百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—		
2023年12月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,153	△4.6	290	29.8	286	30.9	145	52.4	36.59

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー社、除外 ー社 （社名）ー社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	4,035,350株	2022年12月期	4,006,550株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	47,471株	2022年12月期	47,471株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	3,963,435株	2022年12月期3Q	3,957,613株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予測のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書…	4
四半期連結損益計算書	4
四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

我が国経済は、各種政策の効果もあり、緩やかな景気回復が見られます。他方で、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクや物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります状況となっております。

当社グループのサービスを展開するビジネスコミュニケーションプラットフォーム関連の市場は成長を続けており、2026年度にはSMSの配信数が14,077百万通にも及ぶという調査結果（出所：デロイト トーマツ ミック経済研究所「ミックITレポート2022年10月号」）があります。今後も、本人認証や未入金督促等の通知だけでなく、SMSの次世代規格である、「RCS (Rich Communication Services)」が適したプロモーション、マーケティングオートメーションとの連携が進むことで、関連市場は高い成長を続けていくものと予測されております。

このような事業環境の中、当社グループは「Smart Work, Smart Life」の理念の下、コミュニケーションの次元を高めることを目指し、企業の更なる業務効率向上と、働く従業員の多様な働き方の革新を支援するテクノロジーカンパニーとして、メッセージングサービスであるSMS配信プラットフォーム「絶対リーチ！SMS」及びRCS配信及びチャットボットプラットフォーム「Smart X Chat」を展開し、配信数を拡大しております。一方で、配信の平均単価は減少傾向であり、配信価値向上のため、新たなSMS活用方法の検討やデータ分析のメッセージングサービスへの取込みについて研究、開発を進めて参りました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,453,879千円（前年同期比0.2%減）、営業利益238,348千円（前年同期比62.7%増）、経常利益238,459千円（前年同期比68.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益120,757千円（前年同期比38.8%増）となりました。

なお、当社グループはSmart AI Engagement事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて124,656千円増加し、2,161,881千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて159,861千円増加し、1,927,897千円となりました。これは主に、未収消費税等が67,742千円、未収法人税等が37,186千円それぞれ減少した一方で、現金及び預金が227,784千円、売掛金及び契約資産が41,368千円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて35,205千円減少し、233,983千円となりました。これは主に、ソフトウェアが25,230千円、のれんが6,104千円、差入保証金が9,036千円、繰延税金資産が7,469千円それぞれ増加した一方で、有形固定資産が16,867千円、ソフトウェア仮勘定が34,724千円、敷金が32,124千円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は前連結会計年度末に比べて25,081千円減少し、378,251千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて20,284千円減少し、373,967千円となりました。これは主に、未払金が5,528千円、契約負債が6,518千円、未払法人税等が61,749千円それぞれ増加した一方で、買掛金が94,977千円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4,797千円減少し、4,284千円となりました。これは、長期借入金4,797千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて149,737千円増加し、1,783,630千円となりました。これは、資本金が9,604千円、資本剰余金が9,604千円、利益剰余金が120,757千円、繰延ヘッジ損益が2,163千円、新株予約権が7,606千円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関する事項につきましては、本日公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、当該業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,212,528	1,440,312
売掛金及び契約資産	405,120	446,489
前払費用	35,855	33,512
未収消費税等	73,741	5,998
未収法人税等	37,186	—
その他	3,765	3,958
貸倒引当金	△162	△2,373
流動資産合計	1,768,036	1,927,897
固定資産		
有形固定資産	17,838	971
無形固定資産	105,029	101,640
投資その他の資産	146,320	131,371
固定資産合計	269,189	233,983
資産合計	2,037,225	2,161,881
負債の部		
流動負債		
買掛金	335,816	240,838
1年内返済予定の長期借入金	9,396	6,396
未払金	31,764	37,292
未払費用	10,350	10,789
未払法人税等	—	61,749
預り金	6,244	9,682
契約負債	655	7,173
その他	25	45
流動負債合計	394,252	373,967
固定負債		
長期借入金	9,081	4,284
固定負債合計	9,081	4,284
負債合計	403,333	378,251
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,314	23,919
資本剰余金	915,166	924,771
利益剰余金	704,980	825,737
自己株式	△676	△676
株主資本合計	1,633,785	1,773,752
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	—	2,163
その他の包括利益累計額合計	—	2,163
新株予約権	107	7,713
純資産合計	1,633,892	1,783,630
負債純資産合計	2,037,225	2,161,881

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	2,457,744	2,453,879
売上原価	1,721,068	1,667,310
売上総利益	736,675	786,568
販売費及び一般管理費	590,136	548,219
営業利益	146,539	238,348
営業外収益		
受取利息	13	12
還付加算金	132	233
事業譲渡益	—	7,135
雑収入	—	4
営業外収益合計	145	7,385
営業外費用		
支払利息	122	57
為替差損	4,601	2,486
リース解約損	—	231
契約解約損	—	4,500
その他	341	—
営業外費用合計	5,064	7,275
経常利益	141,620	238,459
特別損失		
固定資産除却損	—	15,613
投資有価証券評価損	—	20,059
特別損失合計	—	35,673
税金等調整前四半期純利益	141,620	202,785
法人税、住民税及び事業税	31,321	87,183
法人税等調整額	23,323	△5,154
法人税等合計	54,645	82,028
四半期純利益	86,974	120,757
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	86,974	120,757

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	86,974	120,757
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	—	2,163
その他の包括利益合計	—	2,163
四半期包括利益	86,974	122,920
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	86,974	122,920
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

当社は、Smart AI Engagement事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

当社は、Smart AI Engagement事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2023年11月14日開催の取締役会において、以下のとおり、会社法第459条第1項および当社定款第38条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

資本政策の効率化および資本効率の向上を通じて株主利益の向上を図るため、定款の定めに基づき自己株式の取得を行うものであります。

2. 取得に係る事項の内容

- (1) 取得する株式の種類 当社普通株式
- (2) 取得し得る株式の総数 250,000株(上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 6.3%)
- (3) 株式の取得価額の総額 300,000,000円(上限)
- (4) 取得期間 2023年12月1日~2024年2月29日
- (5) 取得方法 東京証券取引所における市場買付け

なお、市場動向等により、一部または全部の取得が行われない可能性もあります。

(参考) 2023年10月31日時点の自己株式の保有状況

発行済株式総数(自己株式を除く)	3,989,879株
自己株式数	47,471株

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。